

講義要項詳細

科目名	コンテンツマネジメント 1
職名/担当教員	ネットワーク情報学部 教授 福富 忠和
曜日/時限	月曜日 2時限
期間	前期
開講区分/校舎	一部生田/生田
科目区分	専門科目
配当	N 2 3 4
単位	2単位

[戻る](#)

講義内容	<p><到達目標></p> <p>コンテンツのプロデュース、制作から事業化にいたるプロセスと業務運営に必要な基本的な事柄を学んでいく。ネットワークとそれ以外のメディアコンテンツのマネジメントに触れながら、それらに共通する企画立案、事業モデル、ファイナンス、人材と工程の管理、著作権処理および法務、配信・配給・販売、マーケティングなど、プロデュースに必要な要素を横断的・総合的に理解できることが学習の目標となる。</p> <p><講義概要></p> <p>コンテンツにはエンターテインメントやニュース報道としてもっぱらマスメディアやパッケージメディア、ネットワークを通じ受容・消費されるものと、企業や組織の活動に必要なコミュニケーション用途のものがあるが、その双方を扱う。ブロードバンド環境が拡大し、コンテンツ制作にデジタル技術が浸透したことをうけ、多様な配信・販売のチャネルの活用と、資金調達やビジネスモデル立案への深い見識が要請されるようになってきている。講義ではメディア別、コンテンツ別にアプローチながら、産業分野を横断的に学んでいく。</p> <p><講義計画></p> <ol style="list-style-type: none"> 1) コンテンツの領域と構造 2) メディアとコンテンツ 3) 企画の発注、立案とプレゼンテーション 4) 制作工程と人材 5) 収支計画と資金調達 6) 著作権の処理 7) 著作権以外の法と規範 8) 契約および業務受注 9) メディア・コンテンツ製作のプロセス (1) 放送 10) メディア・コンテンツ製作のプロセス (2) 出版、パッケージ 11) メディア・コンテンツ製作のプロセス (3) 映像、アニメーション 12) メディア・コンテンツ製作のプロセス (4) ネットワーク配信 13) メディアミックスと通信と放送の融合 14) ウィンドウイングとマーチャンダイジング 15) 企画プレゼンテーションと講評 <p><教科書・参考書></p> <p>長谷川文雄・福富忠和編「コンテンツ学」（世界思想社 2007年）</p> <p>参考文献として以下</p> <p>デジタルコンテンツ協会編「デジタルコンテンツ制作入門」（オーム社 2004年）ほか、講義中にも提示する。</p>
	成績評価方法・基準
履修上の留意点	<p>経営学、著作権法関連の他課目を履修すると、講義の理解の助けになると思われる。</p> <p>ゲスト講師を招聘するためや、立案した企画のプレゼンテーションを外部専門家に講評していただくため、通常講義外の時間に補講を行うことがある。</p>
担当教員へのアクセス	10号館6階10603/メールアドレス： fukutomi@isc.senshu-u.ac.jp
その他	<p>【平成17年度～平成24年度入学者用科目】</p> <p>平成21年度～平成24年度入学者（2・3・4年次配当）</p> <p>平成17～20年度入学者（3・4年次配当）</p> <p>ただし、2年次生にはやや専門的な部分もあるため、3年次以上での履修をすすめる。</p>
更新日時	2012/03/08 16:13

[戻る](#)

[▶ 講義要項トップへ戻る](#)

専修大学教務課・二部事務課・大学院事務課